


2-2 河川の健康項目の環境保全目標を達成しなかった地点

(2019 (令和元) 年度)

項目	河川名	測定地点名	最大値 (mg/L)	年平均値 (mg/L)	m / n	環境保全目標 値 (mg/L)
ほう素	神崎川	千船橋	2.8	1.4	2 / 4	1
	正蓮寺川	北港大橋下流700m	3.5	3.0	4 / 4	
	六軒家川	春日出橋	3.2	1.7	3 / 4	
	安治川	天保山渡	3.2	2.0	4 / 4	
	尻無川	甚兵衛渡	2.2	1.5	3 / 4	
	木津川	千本松渡	2.5	1.7	4 / 4	
	木津川運河	船町渡	2.1	1.7	4 / 4	
	住吉川	住之江大橋下流1100m	1.8	1.5	4 / 4	
	王子川	新王子橋	2.2	1.6	1 / 2	

- (注) 1 m/nのnは調査対象検体数、mは目標値を超えた検体数を表しています。
- 2  で示した測定地点の環境保全目標を達成しなかった原因は、自然由来（ほう素を含んでいる海水の影響）と考えられます。
- 3 府内の100河川139地点においてアルキル水銀を除く健康項目について原則年1回以上測定しています。アルキル水銀については、原則として総水銀が検出された場合のみ測定しています
- 4 環境保全目標（環境基準）は、全シアン及び総水銀以外は年平均値で判断し、全シアンは最高値で判断します。総水銀についての適否の判定は、年間の中で測定値が0.0005mg/Lを超える検体数が調査対象検体数の37%以上である場合を不適とします（昭和49年12月23日付け環水管第182号）。